



通常訪問研修を終えて⑧ 舟橋中学校

研修主題：自ら考え、共に学び合う子供の育成
—確かな学力を育成するための課題設定、発問のありかた—

本校では、今年度「ふなはし『学び合い』スタイル」を基に、課題設定と発問に焦点をしばって研修主題を設定しました。

〈「とやま型学力向上プログラム（Ⅲ期）」に照らした本校の取組の位置付け〉

視点1 子供の問題（課題）意識を高める



生徒の課題意識を高める課題設定や発問（研修主題）

視点2 子供が自己調整しながら学習を進めることができるようにする



「学び合い」スタイルの学習展開

訪問研修では、授業実践と研修を行い、以下のことなどを学びました。

〈明らかになったこと〉

- ・生徒の実態を踏まえた上で、学びに向かう必要感のある課題を設定する。「既知とのずれ」「生活体験との関連」「課題解決の必要感」「自分ごととしての捉え」等は、課題設定の普遍的な視点となる。
- ・課題の提示について、事象の前後だけを生徒に提示し、その途中の過程で何が起きたのかを考えさせるなど、追究したくなる課題提示の工夫も重要である。
- ・「とやま型学力向上プログラム（Ⅲ期）」の視点2に関して、対話的な学びを進めて自己調整を促す教師の手立てが必要になる。自己調整している状態とは、主体的に学んでいる状態である。

〈残された課題〉

- ・1時間の課題設定や発問だけで、資質・能力の育成は厳しい。章をつらぬく問いの設定や生徒による学習課題の設定等を進めるなど、単元構想を再考する。



生徒の深い学びにつながる授業実践を重ねていきたいと思えます。

文責 教務主任 日水 徹

